

(平成 29 年度の実績評価)

総合計画体系	政策No.	1	政策名	安全でみどり豊かな人がつながるまちの形成	施策主管課	市民部 みんなでまちづくり推進課
	施策No.	1	施策名	地域コミュニティの充実	施策主管課長名	小池 肇
施策関連課名			交通政策室、八田窓口サービスセンター、白根窓口サービスセンター、芦安窓口サービスセンター、若草窓口サービスセンター、甲西窓口サービスセンター、観光商工課			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民 世帯 自治会	市民の交流が深まる。 地域コミュニティ活動に気軽に参加する人が増える。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880		
	イ 世帯数	戸	見込み値			26,914	27,132	27,349	27,566	27,784
			実績値	26,525	26,821	27,079	27,335	27,608		
	ウ 自治会数	団体	見込み値			104	100	100	100	100
			実績値	114	104	88	87	86		
② まちづくり指標	A 地域活動へ参加した世帯の割合	%	目標値			56.8	60.1	63.4	66.7	70.0
			実績値	—	56.8	54.3	51.2	52.5		
	B 自治会活動など地域活動に関する満足度	%	目標値			40.0	42.5	45.0	47.5	50.0
			実績値	37.0	33.9	35.4	37.5	39.0		
	C 自治会に加入している世帯の割合	%	目標値			74.2	74.6	75.0	75.5	76.0
			実績値	73.8	73.2	71.9	72.8	71.7		
	D 認証NPO法人数	団体	目標値			36	37	38	39	40
			実績値	36	40	41	41	41		
	E 公共交通の便利さに関する満足度	%	目標値			15.3	16.2	17.1	18.0	19.0
			実績値	14.4	11.4	20.3	24.3	22.8		
まちづくり指標設定の考え方				A: 地域コミュニティ活動への参加度合いを示す。 【市民アンケートの『あなた自身またはご家族のどなたかが、地域(コミュニティ)活動に参加していますか』において、「行っている」「どちらかというに行っている」と回答した人の割合】 B: 地域活動に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『自治会(地域コミュニティ)の活動やイベントに満足していますか』において、「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合】 C: 地域コミュニティへの参加度合いを示す。 【毎年4月1日の自治会加入報告世帯数÷住民基本台帳世帯数×100】 D: 市民の自主的活動の状況を示す。 【市民活動センターが把握している市内に事業所を有する認証NPO法人数(4月1日現在)】 E: 公共交通機関の利用環境に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『路線バスなど公共交通機関の運行状況に満足していますか』において、「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合】						
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方)				A: 10年間でH24年度の自治会加入世帯割合(75%)と同等の参加割合を目指す。 B: 市自治会連合会設立により市内自治会の不均衡を統一したことにより5年間で約10%の上昇を見込む。 C: 合併から加入率は10%減少している。H25年度から市自治会連合会を設立し、市と連合会との自治会強化対策の取り組みにより、5年間で約2%の上昇を見込む。 D: 過去5年間(第1次総合計画後期計画期間)の実績をもとに、5年間で約5団体の増加を見込む。 E: 地域との協議による新たな交通網の検討により、5年間で約5%程度の上昇を見込む。						

3 予算等の推移

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	17	17	18	16	13	14	
関連事業予算額(単位:千円)	106,003	86,087	127,085	163,599	190,558	198,617	
(予算額の内訳)	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	1,784	1,088	1,961	1,746	2,396	1,250
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	8,140	49,400	58,800	53,100	51,100	51,401
	一般財源	96,079	35,599	66,324	108,753	137,062	145,966

4 評価結果(施策の有効性評価)

<p>① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>※左記の理由</p> <p>NPO法人数は昨年同数だが目標値は上回っている。公共交通の便利さに関する満足度は目標値を上回っているものの、20%前半を推移しており、決して数値が伸びている状況にはない。その他の自治会等に関する3指標については全て目標値に届かない状況となっている。</p>
<p>② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>※左記の理由</p> <p>基本計画現況値と比較しても、ほとんどが大きな数値の変化はなく、ほぼ横ばいに近い状況で推移している。ただし、公共交通の満足度は、26年度と比べると、ほぼ倍近くなっており、数値的には高くはないが、徐々に上がってきている。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>NPO法人数は41件と昨年同数のままであるが、県内の同規模の自治体(甲斐市27、笛吹市26)と比較すると多い数値となっている。地域活動、自治会への加入については、他県ではあるが同規模の栃木真岡市の地域活動43%、自治会加入率76%と比較しても、地域活動52.5%、自治会加入率71.7%とほぼ同水準となっている。</p>
<p>④ 住民の期待する成果水準との比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>市民アンケートの施策満足度・重要視傾向調査によると、地域コミュニティの重要度51.7%に対し、満足度は30.9%、NPOなど市民活動の重要度35.2%、満足度23.1%と、どの数値も昨年より上がっているとはいえ重要度に比べ満足度は低い水準にある。公共交通に関しては、重要度59.1%と市民の必要性は高いが、満足度は21.1%と、重要度と満足度の間に差がある。</p>

5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
<p>○集合住宅等における自治会組織の運営が厳しい状況にある。高齢独居、一人親、外国人等の世帯が増加し、自治会活動(組単位での活動等)が行えない状況となり、自治会の連合組織から退会する地域がある。</p>	<p>○自治会内の組単位での組織の見直し。なるべく多くの戸数になるよう組織する。</p> <p>○周囲の自治会との合併等の検討。</p>	<p>○まずは各組などの取り決め等を見直し、役職、金銭的な負担等の軽減を図る。</p> <p>○組の合併などにより、組織内の戸数を増やし、人員や予算的に少しでも余裕を持てるようにする。</p> <p>○各地区の自治会連合会の理解を得る中で、その地域全体の問題として捉えてもらい、課題解決に向けて検討していく。</p>
<p>○NPO同士やNPOと地域(行政等を含む)が連携する場が少ない。</p>	<p>○NPOの活動を市民や行政等に広く知らしめるとともに、地域の課題やニーズとNPOとを結びつけていく。</p>	<p>○NPOの活動状況、内容等をホームページやチラシなどにより情報発信していく。</p> <p>○地域の課題やニーズを把握し、NPOの活動を紹介したり、NPOと結びつけるような場の提供を行っていく。</p>
<p>○高齢化により運転免許証の返納者など交通弱者が増加しており、コミュニティバス拡充の要望が多くなっている。</p> <p>○鉄道駅のない本市は、公共交通を利用した市外との往来に不便な環境にあり、駅への増便要望が多い。</p> <p>○現行のコミュニティバス車両は高齢者等の安全な利用に支障がある。</p>	<p>○ニーズに適切に対応し、コミュニティバスの利便性を高める</p> <p>○鉄道駅へアクセスするコミュニティバスの拡充</p> <p>○ユニバーサルデザインに対応したバス車両の導入</p>	<p>○コミュニティバスの利用状況と地域の要望等を踏まえ、ニーズに対応した路線の見直しを進め、利便性を高めていく。将来的な需要も捉えながら路線の拡充も計画していく。</p> <p>○駅でコミュニティバスに乗降する利用者が特に多いこと、約7割の生徒が市外の高校への通学している現状等を踏まえ、公共交通を利用した市外との往来の利便性を向上させるため、駅にアクセスするコミュニティバスを拡充し、軌道系交通機関と連携した公共交通環境を整備していく。</p> <p>○現状のコミュニティバス車両は、乗降口が高く、段差があるため、高齢者、身体障害者、ベビーカー利用者などの利用に支障をきたしている。低床ノンステップバスを計画的に導入し、ユニバーサルデザインによる誰もが安全に利用できる環境をつくる。環境整備に向けて、車両拡充・更新計画を立てる。</p>